

株式会社免疫生物研究所

JASDAQグロース 証券コード:4570



代表取締役社長 清藤 勉

2020年5月29日（金）



2020年3月期（第38期）決算報告（連結）



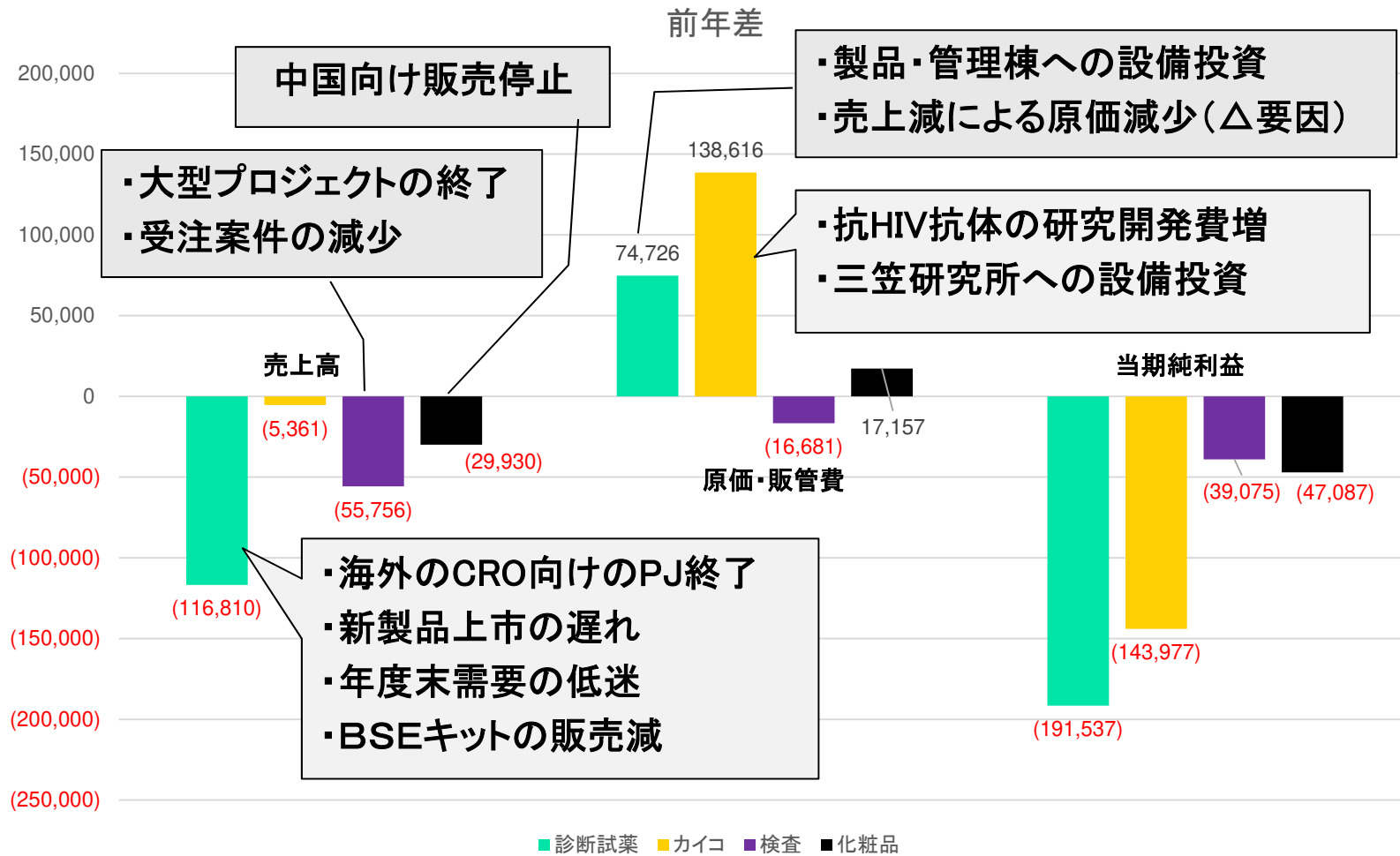
研究開発の状況

全社業績(連結)

(単位:千円)		2019年3月期 第37期	2020年3月期 第38期	差 額
売上高	診断・試薬事業	588,014	471,203	△116,810
	遺伝子組換えカイコ事業	30,606	25,245	△5,361
	検査事業	127,392	71,636	△55,756
	化粧品関連事業	42,803	12,873	△29,930
	調整額	△7,601	△4,266	+3,335
	合計	781,215	576,692	△204,522
営業利益	診断・試薬事業	67,079	△124,457	△191,537
	遺伝子組換えカイコ事業	△247,914	△391,891	△143,977
	検査事業	12,847	△26,227	△39,075
	化粧品関連事業	△6,654	△53,741	△47,087
	調整額	960	960	—
	合計	△173,680	△595,359	△421,678
経常利益		△155,747	△678,762	△523,014
親会社株主に帰属する 当期純利益		△167,319	△668,125	△500,806

【セグメント別 損益前年差】

(金額: 千円)



貸借対照表（連結）

（百万円）	前期末	当期末	増減	主残高
流動資産	2,111	1,592	△518	現預金 1,033(△510)
固定資産	876	779	△96	
資産合計	2,988	2,372	△615	投資有価証券 595(△90)
流動負債	550	397	△152	
固定負債	292	26	△265	転換社債【短期】 200(△77)
負債合計	842	424	△418	転換社債【長期】 0(△200)
純資産合計	2,145	1,948	△197	
負債純資産合計	2,988	2,372	△615	※()は、前年差

※ 転換社債の内訳

(株)トランスジェニック 200百万円（200,000株）償還期日2021年3月1日

※ 新株予約権の状況

(株)ウィズ・パートナーズ 454百万円（570,000株）行使期間 2021年12月19日まで

□ キャッシュ・フロー（連結）

(千円)	2019年3月期 (第37期)	2020年3月期 (第38期)
営業C/F	△243,935	△608,746
投資C/F	△593,279	+10,818
財務C/F	△126,320	+81,195
現金及び現金同等物の 期末残高	1,491,808	974,456

■ 2020年3月期（第38期）決算報告（連結）

■ 研究開発の状況

□ 医薬品シーズとしての研究開発テーマ

アミロイドβ 毒性オリゴマー特異的抗体の大規模な治療実験を実施

本研究開発は、4年間以上継続してまいりましたが、医薬シーズに繋がる決定的な成果が得られていないことや現状の当社の財務状況を鑑み、一旦中止とし他の有用な研究開発に資金を集中してまいります。

医薬品シーズとしての研究開発テーマ

ダニ媒介性感染症(SFTS)の抗体医薬品を目指し「ABCONTEK社」と共同研究契約を締結

SFTSを治療するための抗体医薬品候補「ACT101」を共同開発し、早期に承認を目指し、2023年度の販売開始を目標としております。

なお、このSFTSの治療には、現在、対症療法しかなく、死亡例も出ていますが、有効な薬剤やワクチンは開発されていません。

体外診断用医薬品の研究開発テーマと進捗状況

赤字⇒今期更新

標的分子	Tauタンパク質	pTauタンパク質	CTP(Cochlin-Tomo-Protein)	Titin-Nフラグメント	ATGL (TGCV関連タンパク質)	VEGF
対象疾患	クロイツフェルト・ヤコブ病	アルツハイマー病	外リンパ腫	筋ジストロフィー	中性脂肪蓄積心筋血管症	クロー・深瀬(POEMS)症候群
申請区分	既存(クラスⅡ)	既存(クラスⅡ)	新規(クラスⅢ)	新規(クラスⅢ)	新規(クラスⅢ)	新規(クラスⅢ)
共同研究先	弘前大学	弘前大学	・埼玉医科大学 ・試薬販売業者	・神戸大学 ・昭和大学	大阪大学	製薬企業
進捗	リリース日 2019年11月	リリース日 2019年11月	医薬品申請済 (試薬販売業者)	医薬品申請 準備中	開発終了し 評価中	医薬品申請 準備中
IBLの役割	・試薬開発 ・医薬品申請	・試薬開発 ・医薬品申請	・試薬開発 ・受託製造	・試薬開発 ・医薬品申請	・試薬開発 ・医薬品申請	・受託製造

(医薬品の実用化を目指す研究開発: 抗HIV抗体)

《抗HIV抗体 of 医薬品原料導出》

○ 医薬品製造にPMDA より同意を取得。

○ 薬効・薬理試験は、順調に進展。

○ 特許出願

⇒ ウイルス感染カニクイザルに投与する試験を実施し、本抗体によるウイルス抑制効果を確認

※ 実験は継続中で、優れた有効性を示すデータを蓄積しております。

(医薬品の実用化を目指す研究開発: 抗HIV抗体)

《抗HIV抗体 of 医薬品原料導出》

今後のスケジュール

- ・遺伝子組換えカイコの系統・バンク管理システムの妥当性を裏付けるデータを取得し、より具体的な管理体制を確立。⇒**開発中**
- ・GLP準拠の非臨床試験に向けて、カイコ大量飼育技術を確立し、高度に品質管理されたカイコ繭の生産体制を確立。⇒**4万頭/ロットの生産体制確立済み**
- ・カイコ繭からの抗体抽出・精製技術を開発し、GMPグレードの原薬製造体制を確立⇒**高純度の原薬製造体制を確立済み**・**製造コストに関して課題発生**

(医薬品の実用化を目指す研究開発: 抗HIV抗体)

《抗HIV抗体 of 医薬品原料導出》

(課題)

現在実施している非臨床試験へ向けての抗HIV抗体の開発およびGMP体制下での製造には、数億円単位のコストがかかる見込みであり、資金の需要が増えてまいります。しかしながら、遺伝子組換えカイコ事業を支える他のグループ事業の業績は、新型コロナウイルス感染の影響により業績低迷が予想され、また、株価の低迷により資金調達も厳しい状況のため、研究開発の遅延が予想されます。また、抗HIV抗体の商業化へ向け、製造コストの削減が課題となっております。

当社グループは、上記課題の解決に向け全社一丸となって、邁進してまいります。

⇒ 医薬品原料の導出は、2023年3月期中を目指します。

LipoSEARCHによる検査サービスの主な検査領域は生活習慣病関連です。この領域における検査に対する需要は、国内にとどまらず、むしろ海外において、今後も増加するものと予想されます。

⇒現在、解析システムの早期海外導出を目指しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、導出予定企業との商談が停止となっております。今後も導出に向けて、準備を進めて参ります。

（新規サービスの提供）

⇒IBL藤岡研究所内に登録衛生検査所「IBL解析センター」を開設し、IBL独自のELISA測定キットを用いた研究検査の受託測定などを開始しております。さらに、大手検査会社との提携により、検査受託を軌道に乗せることを目指してまいります。

今後の展開

○国内販売

通販事業にユーザーを呼び込む施策として、SNSを活用し、新規顧客の獲得を目指してまいります。さらに、カスタマーセンターを強化し、新規顧客から定期顧客への誘導に注力してまいります。

○海外販売

各地における社会活動の再開に向けて、代理店とのコミュニケーションを欠かさず、現地の情報収集をおこない販売開始の準備を進めてまいります。

今後の展開

○中国商標問題

中国における社会活動も徐々に再開され、現地代理人との情報交換も始まっております。また、中国向け販売代理店により、フレヴァンの中国語名の商標登録が完了（一度は拒絶されましたが、再審請求の結果、取得）しました。一方、アルファベット名「frais vent」の商標につきましては、現地代理人より連絡があり、下期中の取得を目指してまいります。さらに、化粧品の本格的な販売活動につきましては、第4四半期の開始に向け準備を進めてまいります。



2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、研究活動や経済活動等が制限される中、現時点では、収束時期の見通しが立っていないことから、連結業績予想の合理的な算定は困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

なお、中期経営計画につきましても同様の理由により、未定とさせていただきます、算定が可能になった時点で、速やかに公表いたします。



本発表において提供される資料ならびに情報は、当社経営陣が現時点において入手可能な情報によって判断したものであり、不確実である情報から得られた多くの仮定や考えによって作成されております。実際の成果は、さまざまな要素によって変化するため、業績見通し、開発見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。

実際の業績に影響を与える要素には、国内および国際的な経済情勢、業界ならびに市場の状況、金利および通貨為替の変動、新製品申請の遅延、導出先企業における開発の進捗の遅れ、技術的進歩、競合他社による特許の獲得、国内外の政府による法規制の変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。